

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	みやま市や大川市では既に学校再編が進んでいるが、その際、どのような問題が出たか？	近隣自治体で再編が進んでいるのは、皆様もご承知のことと思う。みやま市では、特に桜舞館小の統合において、通学方法に関して多くの議論があった印象である。山川中に全ての小学校を集める案もあったが、これは見直されている。通学路整備やプールの問題、また小中学生と一緒に生活することについても、様々な意見があったとのことである。再編に際して参考にすべきところは参考にして、取り組みを進めたいと考えている。
2	統合後の学校規模に差があるが、生徒数をバランスよくすることは考えられていないのか？	統合時の生徒数に差があることは確かであり、計画(案)を策定するにあたり、私共としても頭を悩ませた部分である。様々な組み合わせを検討し、例えば(仮称)柳南小はもう少し規模が欲しいという本音もあるが、昭代校区との統合は、川を挟み、通学面での負担が大きい。また、(仮称)柳城小と(仮称)柳南小での統合となれば、統合後の校区が広すぎる問題がある。旧大和町地区についても、統合後の校区が同様に広がるが、居住実態としてはそこまで広い範囲に子どもが分布しているわけではない。このような状況を考慮に入れての今回の計画案である。ご理解をお願いしたい。
	東宮永校区でも、下宮永町に住んでいる者は、近くに(仮称)柳南小が見えているのに、遠くの(仮称)柳城小に行くことになる。このような点が疑問で質問をさせていただいた。よくわかった。	現在でも、柳城中と柳南中の生徒が行き交うような状況であることは把握している。東宮永小を(仮称)柳南小に統合する案もあったが、それでは(仮称)柳城小の規模が足りなくなってしまう。また、地域コミュニティ活動への影響等も考えて、現時点ではこのような計画案を策定している。よろしくをお願いしたい。
3	共働きであるが、義務教育学校における学童保育はどうなるのか？	義務教育学校に限った話ではないが、学校再編後も、学童保育を利用したいというご家庭が利用できるような規模で整備したいと考えている。また、基本的な考え方として、学童保育は新設校の敷地内にスペースを設けたい。現在、各学校にそれぞれ存在する学童保育運営委員会も、新設校ごとに統合されるのが自然な形ではないかと考えている。今後も所管課である子育て支援課と協議を続け、再編協議会(仮称)で話し合い、準備を進めていきたい。